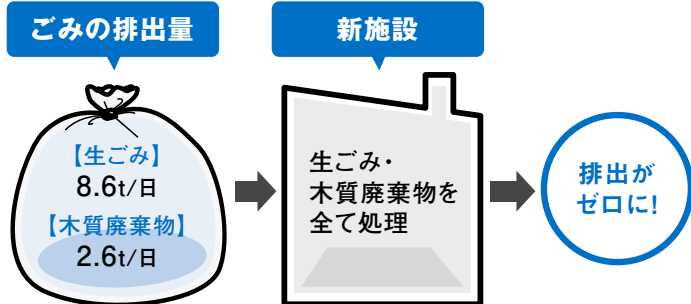


新たに稼働する施設・設備

資源リサイクル施設

廃棄することになった青果物などの生ごみを乾燥させ、飼料にする施設です。乾燥機の燃料には、木箱などの木質廃棄物を活用。これにより、生ごみと木質廃棄物が排出されなくなります。



太陽光発電設備

荷さばきなどを行うセンターヤードの屋上に太陽光パネルを設置します。発電した電力は、北電に売却するほか、災害停電時には、住民に飲料水を供給する設備の電源として使います。



一般家庭が使う電力のおよそ100軒分を発電!

設置数1,440枚
発電規模327kw

これからも環境に優しい市場づくりを進めていきます

中央卸売市場に、資源リサイクル施設と大規模な太陽光発電設備を導入します。これらは、ごみの減量や温室効果ガスの削減など、市が抱える環境課題を解決するため、新たに設置するものです。市の広大な敷地を有効に活用し、環境負荷の低減だけでなく、市場全体の運転コストの削減にもつなげます。太陽光発電設備は3月下旬に、リサイクル施設は4月上旬に稼働を開始。一層環境に優しい市場を目指していきます。

【詳細】リサイクル施設については中央卸売市場(611)3111、太陽光発電設備についてはエコエネルギー推進課(211)2872

中央卸売市場

多くの青果物や水産物が売買される、北海道最大の市場です。

取引量年間約41万トン(1,548億円)
総面積12万9,748㎡
およそ札幌ドーム2個分
所在地中央区北12西20



NEWS 02

中央卸売市場で環境に配慮したさまざまな取り組みを実施

リサイクル施設と太陽光発電設備を設置します

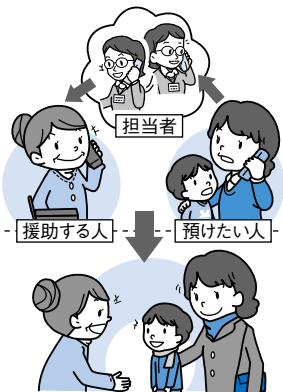
子ども緊急サポートネットワーク

子どもを預けたい人と、援助したい人がそれぞれ会員登録。急な残業や出張など、いざというときに子どもを預けられる仕組みです。利用には事前の登録が必要です。

【登録しておくこと…】

依頼の電話をかけると、すぐに援助してくれる人を探します。

援助してくれる人が見つかり次第、依頼者に連絡。子どもを預けます。



【利用時間と金額】

一般	7時30分～23時	30分当たり500円～
病児・病後児	月曜～土曜の7時30分～18時	30分当たり500円
宿泊	保育所・学童保育終了時～登園・登校時まで	10,000円～

3月から

生後5カ月～小学3年の病児・病後児のみ、3時間を超えた分の料金を30分当たり150円に軽減 ※土曜は13時まで

3月から、緊急時に子どもを預けられる会員制の仕組み「子ども緊急サポートネットワーク」の費用を軽減します。軽減対象は、生後5カ月～小学3年で、病児の子(病児)か回復期にある子(病後児)を預ける保護者。子どもを保育所などに預けられない保護者などの負担を軽減し、誰もが安心して子育てができる環境づくりにつなげます。なお、この仕組みは病児病後児に限らず、小学生以下の子を持つ方であれば利用できます。お問い合わせください。

【詳細】子育て支援課(211)2988

NEWS 03

緊急時に子どもを預けられる仕組みの費用を一部軽減

病児・病後児を3時間を超えて預ける方が対象

詳しく知りたい方・登録したい方は

子ども緊急サポートネットワーク ☎621-6626 にお電話ください。